

合戦原遺跡38号墓の線刻壁画について

【遺跡所在地】 宮城県山元町

【調査原因】 防災集団移転・災害公営住宅建設事業

【調査主体】 山元町教育委員会

【遺跡の概要】

古墳時代終末期から奈良時代にかけての横穴墓54基、古代の竪穴建物跡2棟、製鉄炉跡3基、木炭窯跡20基、焼成土坑・土坑60基などを検出。

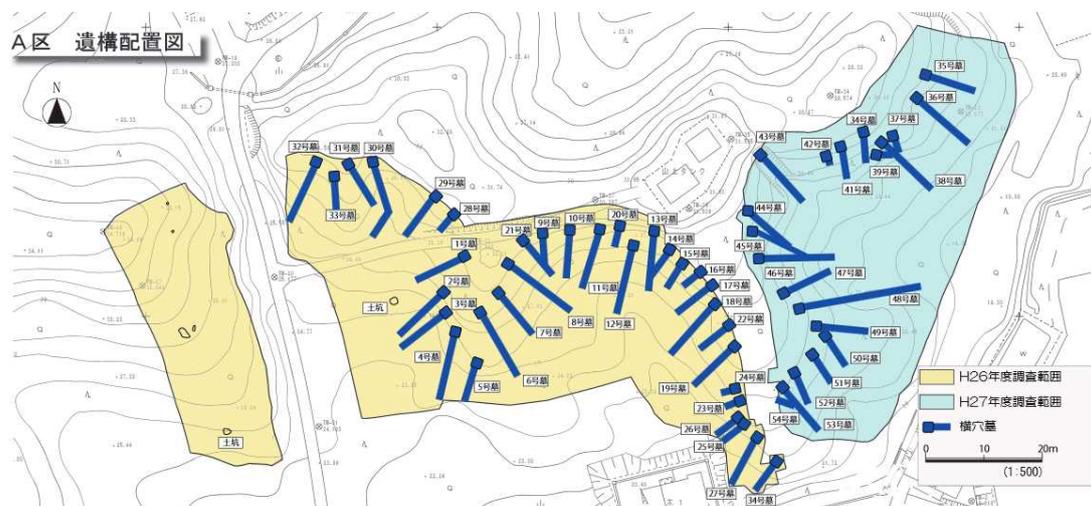
38号横穴墓の玄室奥壁で人物や鳥を描いた線刻画を確認。金銅製太刀、直刀、鉄鏃、鏡・杏葉・帯金具などが出土。

【対応】

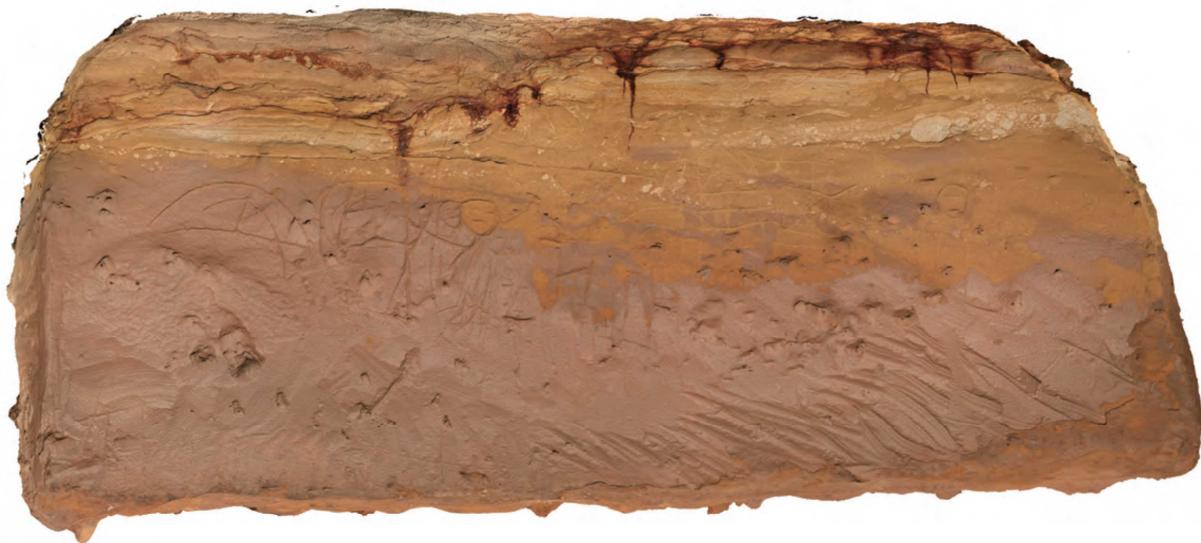
○現地保存の可能性を含めて、壁画の保存方法について技術的な助言を行ったが、壁画が描かれている壁面が脆弱なため現地保存は困難であると判断。壁画の立体転写のための実験を現地で実施中。

【今後の方針】

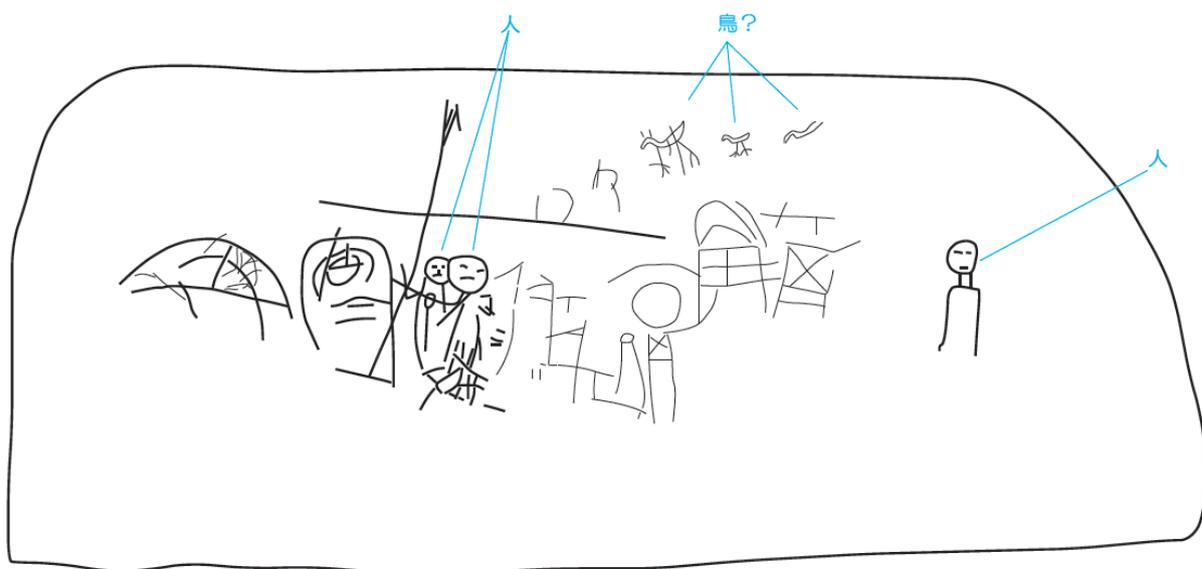
- 壁面強化に用いる薬剤の選定を終了し、現在、はぎ取り方法の検討のための実験を実施中。
- 平成28年度前半にはぎ取り作業を実施する予定



横穴墓分布図



壁画



壁画略图